

上智大学フランス文学科主催シンポジウム

パリという首都風景の誕生

ーフランス大革命から世界大恐慌までー

日時：2011年1月29日（土）15:00～18:30

場所：上智大学7号館4階文学部共用室A（どなたでも聴講自由です）

プログラム

15:00 開会の辞 「パリという首都風景の誕生」について

1) 「ナポレオン帝政・王政復古・七月王政下の首都改造 —『人間喜劇』に見るパリの変貌—」 澤田肇(上智大学・仏文学)

2) 「地上の世界、地下の世界 —19世紀パリの上下水道整備と土木エンジニア—」 栗田啓子(東京女子大学・経済学史)

3) 「変容するパリの記憶・風景 —写真的次元で—」 北山研二(成城大学・美学)

16:30～16:45 質疑応答

16:45～17:00 休憩

4) 「ガラスのつくった新たな都市景観」 三宅理一(藤女子大学・建築史)

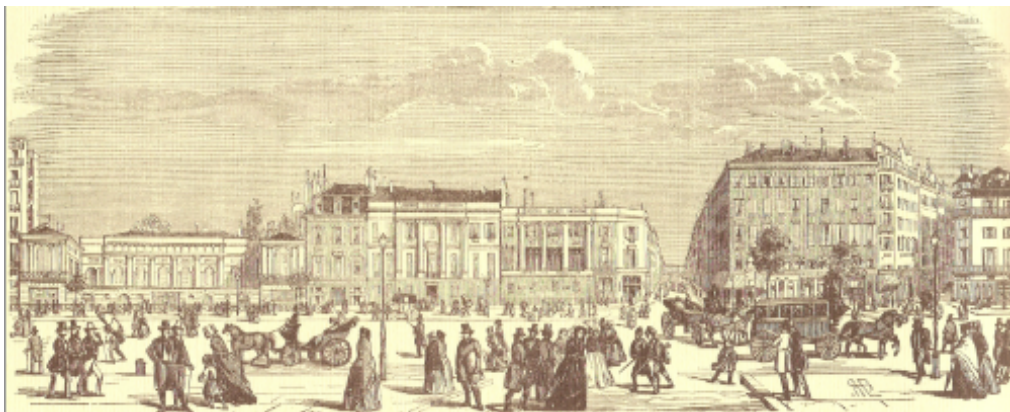
5) 「世紀末の彫刻狂(スタテュオマニ) —パリの彫像ブーム—」 南明日香(相模女子大学・比較文化)

6) 「パリの街並みをスキャンする」 五十嵐太郎(東北大学・建築学)

18:15～18:30 質疑応答

仏文科事務室 Tel. 03-3238-3621

四谷キャンパスマップ http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/map/map_yotsuya



19世紀前半のパリ カピュシーヌ大通り